

## 活力ある農業対策を示せ

町長…町としてさまざまな制度を活用し支援していく



星川 久 議員



夢ある農業対策を

耕作放棄地（上ノ台）の再開発の考えは、当地は13号バイパスから20

米価の下落、反して肥料、資材、農機具等の価格高騰で厳しい農業経営が実態の中、今後既存農家の若者は勿論のこと、新規就農者の育成の考えは。



つや姫の公平な栽培を

※カントリーエレベーターとは、穀物の乾燥機とサイロ（貯蔵タワー）とをエレベーターでつないだ農業用大型施設のこと。米や麦、大豆などの穀物を集荷、乾燥、調整、貯蔵、精米、袋詰め、出荷を行う共同利用施設

人と人との絆の重要性を感じる社会情勢の中、

0m程、近年できる尾花沢インターから車で4分程、交通的に好条件の立地であり、将来県事業として開発し、例として市民農園等の活用を県に働きかけるべきと思うが。町長 現在は保全管理の転作田であり、地権者からの要望がなく今のところ開発は考えていません。しかし、今後県とも話し合いはさせていただき、十分検討します。

コミュニティ活動支援員派遣事業の設立の考えは、町長 町職員派遣は職員数や業務等を考慮しても困難と考えますが、県下のコミュニティ活動は全体的に把握していません。町を良くする活動に対する支援は考えます。

災害時のボランティア活動に対する一日保険加入負担費については、町長 今のところ考えていません。



毎年冬の除雪で苦勞する道幅の狭い私道



齋藤 公一 議員

町長 法定外公共物いわゆる「里道」と呼ばれ、地域住民の生活道路としての機能をもち複数の住民の方が利用している道路については実態を調査し、検討する必要があるのではないかと考えています。

町長 大震災時は簡易水道区域外の利用に配慮し、配水池付近で自由に水を汲むことができるよう除雪を行って対処したところ。しかし、次年度のふるさと自然館広場の自由な給水、常時給水のための設備は現段階では費用も発生するので無理ではないかと考えています。ただ非常時においては十分対応できるように地区とも協議して今後にも備えるこ



次年子のふるさと自然館に誰でも利用できる給水設備の設置を

### 除雪体制を問う

私道の除雪について再検討し、何らかの対策を講ずる考えは。

町長 県道・町道・生活道路までは除雪や補助があるが、私道にはないのでそれらを見直し、善処する考えは。

### 防災体制を問う

非常時・緊急時対策として給水に万全を期しておくべき。次年子地区の水道水をふるさと自然館広場で自由に給水できるように設備し、常時給水できるようにすべきではないか。

とができるよう計画していきます。

## 私道除雪を再検討し、その対策を講ずる考えは

## 町長：実態を調査し、検討する必要があると考えています